

令和3年度「医療検査と自動化」拡大編集委員会

日 時：令和3年10月9日（土）15:00～16:00

場 所：パシフィコ横浜会議センター514号室

出席者：高橋 聡、大久保滋夫、澤部祐司、白井秀明、べ谷直人、清宮正徳、千本松孝明、
春木宏介、藤巻慎一、日高 洋、和田隆志、田原完次（事務局）

WEB出席者：氏家真二、長田 誠、栢森裕三、静 怜子、中山智祥、南木 融

欠席者：石井潤一、村上正己、盛田俊介、横田浩充、阿部正樹、石井良和、磯部和正、
萱場広之、康 東天、竹越一博、野村文夫、菱沼 昭、三橋知明、行正信康

（敬称略）

議 事 録

1. 報告事項

- 1) 令和2年度拡大編集委員会（メール開催）議事録の確認
 - ・資料1に基づき、高橋委員長が報告事項に対するご指摘、ご意見に対しての回答、決定に至った経過などを詳しく説明された。
- 2) 「医療検査と自動化」Vol.46-1以降の発行状況及び予定
 - ・高橋委員長が、資料2に基づき以下のとおり報告した。
47巻1号用原稿は、既に論文12編と生理検査委員会アンケート集計報告など揃っており、総説についても、47巻1号に日高洋先生、47巻2号に藤巻慎一先生の前稿が既に届いている。
- 3) 「医療検査と自動化」（旧JJCLA）Vol.28(2003)以降の掲載論文内訳
 - ・高橋委員長は、資料3のとおり、近年は安定して年間40編前後の論文が掲載されている旨、報告した。
- 4) 査読結果（令和2年9月1日～令和3年8月31日に投稿された論文について）
 - ・高橋委員長は、資料4のとおり、投稿論文は原著論文15篇のうち7編、技術論文38編のうち31編が「生化・免疫」領域の論文であり、この分野が専門の編集委員に過度の負担を強いていることから、次項の新編集委員の推薦をお願いすることになった。
また、査読で「掲載不可」の意見があった論文について、内容を確認したが、やはり問題があり、掲載不可と判定した論文が3編出た旨、報告した。
- 5) 総説執筆者一覧
 - ・資料5として、「総説」を掲載し始めた15巻1号から46巻1号までの執筆者と論文

タイトルを示した。

6) 第 28 回論文賞選考経過報告

・高橋委員長が、編集委員に評価して頂いた順位付けから点数化して、2編の論文を決定した経過について報告した。また、資料6として第1回から今年の第28回までの授賞者と論文タイトルを示した。

7) 高橋委員長から、要望が多かった論文の著者に pdf を配布する件に関して、理事会の承認を経て、46巻5号に掲載された論文から、著者に pdf を贈呈することになった旨の報告があった。

また、日高洋委員から pdf の配布は46巻5号からだけでなく、オンラインジャーナルになった45巻1号からの論文についても配布して欲しいとのご意見を頂いた。高橋編集委員長は、全員か希望する著者のみにするかを含めて検討する旨、返答された。

2.新編集委員の件

・高橋委員長は、報告事項1-4)の状況により、新編集委員候補者を10月末日までメール(t-gaku@gk9.so-net.ne.jp)またはFAX(03-3818-6374)で推薦して下さるようお願いした。なお、推薦して頂いた全員に編集委員をお願いすることにはならないかもしれないので、ご本人には伏せていて欲しい旨を併せてお願いした。

3.ご意見、ご要望

・学会ホームページをいつも見てはいないので、会誌が発行された時、全会員に目次を添えてメールで知らせて欲しいとの要望があった。高橋委員長はご要望に沿うべく努めると返答された。

4.その他

・高橋委員長は、編集に対するご意見、ご要望などがありましたら、いつでも私か編集事務局までご連絡して頂きたい旨のお願いをした。

以上